

すぎのこ

176

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
狭山研修センター：〒350-1315 埼玉県狭山市北入前695-1 TEL.04-2968-4721 FAX.04-2950-7706
滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2024 10/1

2面・3面 巡回公演だより／園からの声／いい大人形劇フェスタ2024／60周年企画・みんなのイラストが全国を巡ります！
4面 制作だより／演育ワークショップ／事務局だより ほか

<http://www.suginoko.org/>

E-mail: support@suginoko.org



創立六十周年記念祝賀会 メゾン・セルバンテスに於いて

創立六十周年を迎え 新たな歴史を

理事長 大場 隆志

公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会は八月一日に、創立六十周年を迎えることができました。

この日を迎えることができましたことは、皆様のご協力、ご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

私が理事長を務めさせていただいたのが二〇一七年五月からですので、八年目となりまして、それ

以前の五十二年間は、前理事長の小澤幸雄顧問がこの長きにわたり、劇団すぎのこ、すぎのこ芸術文化振興会の発展のためにご尽力を頂きました。現在も顧問として関わって頂いておりますので、ここに至るまでの六十年と考えると、まさに劇団すぎのこに人生を捧げてきたということだと思えます。

小澤顧問は、私に直接苦労話はしませんが、二十周年を迎えられた際に発行された記念出版の書籍や五十周年を迎えられた際の文章などを拝見しますと、幾度もの存続の危機を乗り越えてきたと書かれていました。心より感謝を申し上げます。

すぎのこ芸術文化振興会では毎年、年に四回、季刊紙を発行させて頂いております。

今年の四月号の季刊紙に、「公益財団法人としてのあるべき姿を目指して」という見出しで書かせていただきましたが、これから公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会として、目指す目標は三つです。

一、演劇としての教育の確立

二、劇団としての経済的自立
三、日本全国と世界への展開
一つ目の演劇としての教育の確立は、単に演劇作品が持っている情動的な教育を広めるだけではなく、これからのAI時代に必要不可欠な人間としての表現力、コミュニケーションシヨン力、そしてAIには真似できない想像力から生まれる創造力を養う教育として、私たちが提唱してきた「演育」を教育として確立していきます。既に小学校の義務教育として採用されておりまして、更に多くの幼稚園や学校で採用いただけるように進めて参ります。

二つ目の劇団としての経済的自立は、日本の劇団業界で観客を集めて興業することで生まれる利益だけで生計を立てている組織は極めて少ないことから、私たち劇団すぎのことして経済的自立を実現し、さらに公益財団法人として、多くの劇団の皆様と協力関係を築き、相互発展を目指してまいります。

三つ目の日本全国と世界への展開については、少子高齢化が加速していく日本での展開方法の模索と、日本の市場規模だけでなく海外への展開を積極的に進めていきます。

東京デイズニールゾートや大阪ユニバーサルスタジアムなど、日本で展開されているテーマパークは、得た収入の多くを、ロイヤリティとしてアメリカの本社に支払っています。これらの日本で作られているテーマパークは、日本のお金を使って建設され、日本の労働力で運営され、多くの日本人によって消費されたお金をライセンス料としてアメリカに支払っています。

日本はアニメやゲームなどで多くの知的財産を生み出していますが、マネタイズができていないのが現状です。

例えば、アジアでの人気キャラクターランキングでは、一位がドラえもん、二位がハローキティ、三位がミッキーマウスです。

ある意味で猫がネズミに勝っているのですが、キャラクターがもたらす収益では、大差でネズミに負けているということになります。

これから日本は労働力が減って人口が一億二〇〇〇万人から八〇〇〇万人になると言われています。日本の未来にとって、日本の生み出した知的財産を使って、他国で収入を生み出し、日本にお金をもたらす仕組みを創ることは、現在製造業だけに頼っている日本社会にとっても重要だと考えます。

エンターテイメントやキャラクターを含む芸術文化としての日本の知的財産を生み出し、海外で展開することにより、日本にお金をもたらすことができるような仕組み作りにも貢献していきたいと考えております。

劇団すぎのこが誕生して六十周年を迎えましたので、これを機に本当の意味で日本の芸術文化の発展に寄与してまいりたいと思えます。

ご承知のように私どもの劇団業界の前途はまことに多難です。しかし、これからも初心を忘れることなく、次の七十周年、八十年、一〇〇周年目指して、たゆまず努力を続けてまいりたいと思っております。これからも、すぎのこ芸術文化振興会を何卒ご支援ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

巡回公演だより

金のおの銀のおの班

金のおの銀のおの班は1学期、北海道を「みにくいあひるのこ」と二本立てでまわりました。

私が長年、巡回公演をしていて思い出すのは、初代理事長小澤明のことです。

長旅から帰ると、必ず出迎えてくれました。笑顔で「お帰り」、そして「釣り堀でも行こうか?」。私は、それほど釣りが好きかわけではないのですが(笑)。

創立60周年の祝賀会とき、車でお使いにでた私に「車の運転ありがとう。駐車場は大丈夫だった?」とさりげない一言をかけて



くれた二代目の小澤幸雄理事長。お二人のささやかな一言に救われてきました。

「どの子にもナマの舞台の感動を!」の思いによって、私という人格が作られているといっても、言い過ぎではないでしょう。

たくさんの人たちとの出逢いと別れを経験して、期待とか希望ではなく、大きな自然の愛の流れを感じていたいと思います。もっと心静かに、子どもたちの声を聴いていたいと思います。

三代目の理事長は、私よりだいぶ年下になりました。大場隆志理事長は、すぎのこの人形劇と、それを観てくれる子どもたちを大切に



に思ってくれています。体の続く限り、一緒に人形劇を届けていきたいと思っています。

たのきゆうのうわばみだいじ班

たのきゆう班は1学期に関東・北陸地方を中心に人形劇をお届けしました。田んぼの鮮やかな緑に日本海の濃い青、美しい景色と美味しい料理を堪能しながら日々楽しく演じることができました。

今回は能登地方にも伺いました。春先、能登地方の園さんに今年度の人形劇をご案内しても良いか思

いあぐねていたのですが、せめて状況だけでも聞けたらとかけた電話の向こうで、先生が言いました。

「先の震災で生活や環境がガラッと変わってしまった子どもたちが多くいる。それでも子どもたちにとって園は今までと変わらない、当たり前前の場所でありたいんです。だから今年も人形劇をお願いします。」
届けたい。強く思いました。まだ

園からの声

金のおの銀のおの

■枝幸町立歌登保育所(北海道枝幸町)
子どもたちは「おもしろかった!」と喜んでいて、とてもいい経験になりました。

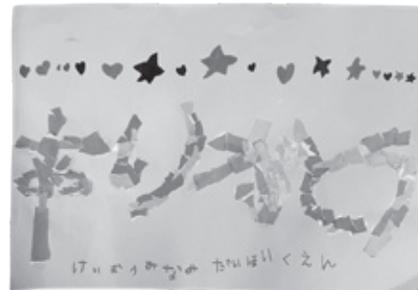
子どもたちは、楽しい人形の動きに食い入るように見ていて、世界に入り込んでいる姿が見られました。保育士の視点からは、演じ方や見せ方など、大変勉強になりました。ありがとうございました。

■ほろむい認定こども園(北海道岩見沢市)
自然と手拍子をしたり、笑い声が聞こえたり、劇に引き込まれていた様子でした。今、人形劇を見る機会は多くはないと思うので、子どもたちの心に残ったと思います。ありがとうございました。

たのきゆうのうわばみだいじ班

■石川県済生会こども園アイリス(石川県金沢市)
少しむずかしいお話かなと思いましたが、子ども達は興味を持ち観劇できました。

■立山町立下段保育所(富山県立山町)
年長児は、「とてもおもしろかった」「もう一回みたい」と嬉しそうに話していました。ありがとうございました。



慶櫻南台保育園(埼玉県川越市)より



はやめ幼稚園(福岡県大牟田市)より

殿の浦愛児園(佐賀県唐津市)より



かたひら認定こども園(宮崎県都城市)より

演者の方の人形操作や声の使い分けなど、素晴らしかったです。子どもたちがとても喜んでいて、すぎのこさんをお願いして良かったです。

マーリヤンとまほうのふた

■伯耆町立あさひ保育所(鳥取県伯耆町)
年齢が小さい子用の「おおきなかぶ」もあり、良かった。「マーリヤンとまほうのふた」は、子どもたちが、ひきつけられて話を観ていました。

■たがみ保育園(鹿児島県鹿児島市)

今回の内容が大変良かったと職員から声があがっておりました。何より人形劇後、子ども達の間で、「げきだん すぎのこさん!」と言って自分たちでおはなし作りをして、台本を作り、数人で人形を動かして、お客さんを招いて人形劇ごっこが、ブームになっています。

■世知原保育園(長崎県佐世保市)
いつも劇団員さんの演技はもち

ろん、舞台・セットも楽しみにさせていたれています。マーリヤンでは、プロジェクトを使ったいつもとは違うセットでしたが、プロジェクトから人形が出てくる演出もあり、とても楽しかったです。また、劇団員の皆様がいっも丁寧に対応してくださるのもうれいす。今年も、ありがとうございました。

もぐらくんの声に耳を傾けて

■相模が丘西保育園(神奈川県座間市)
子どもたちが夢中になっていた印象です。子どもたちは、歌をうたうことが大好きなので、体の動きを真似して動かしたり、歌詞に合わせて振りをつけてみたり、ギターの音色に合わせてうたうことを楽しんでいました。掛け合いで笑いあひながら、いつの間にか、子どもも大人もお話の世界に引き込まれて、とても楽しかったです。ありがとうございました。

まだ復興には時間がかかる状況にもかかわらず、上演を決断してくれた先生方。私たちが人形劇で届けられるものが問われているような、改めて身の引き締まる思いでした。本当にありがとうございます。どうかこれからも、多くの子どもたちが笑顔で日々を過ごせますように。

(吉田 薫)

マーリヤンぞ
まほうのふで 班

マーリヤンは人形劇に、プロジエクターの映像を取り入れている。この融合は、巡回作品としては初めての試みである。

映像は暗い方がよく観える。だけど、園舎だと必ずしも暗くなる部屋ばかりではない。

とても登れない所に天窓がある場合がある。そんな時は、黒いビニールシートで屋根を作る。簡易で完全に陽射しを遮らないが、何とか映像が観える。因みに筆者のアイデアではありません。こんな方法があるんだと、感心して見せていました。

最新技術駆使?の本編と違い、

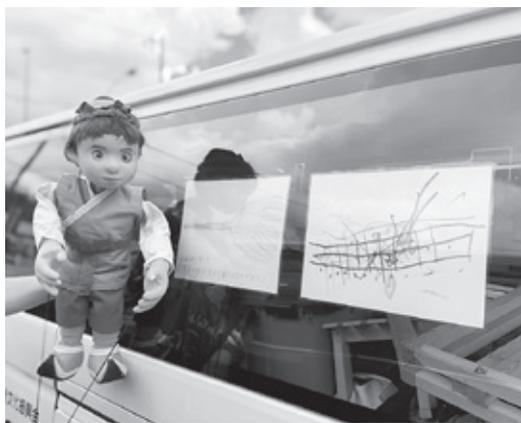


60周年記念企画

みんなのイラストが全国を巡ります!

60周年記念企画「まほうのふででなにをかく?」にご応募いただいたイラストが、巡回班の車に乗って全国を巡る旅をスタートさせました!

のびのびとした、夢いっぱいの子どものイラスト。公式SNSでも紹介していますので、ぜひご覧ください。



もぐもぐ
劇場 班

皆さま!お元気でしようか。今年の夏は、猛暑...いや...酷暑

(野見山 大輔)

サブレパトリの『おきななぶ』の人形は、木を荒く削ったものだ。パベットのようには操作できないが、置いた時の存在感があり、それを活かした紡ぐは奥深い。人形劇というのは、本当に器が広い。役者もたくさん挑戦を楽しんでいます。

子どもたちは元気な声と一緒に歌ってくれ、人形劇では大きな声の声援があり、楽しい時間を過ごすことができました。最近小さい乳児から観られる作品を希望されることも多くあります。もぐもぐ劇場は上演時間も



(下村 あきら)

いいだ人形劇フェスタ2024

8月に長野県飯田市で開催された、いいだ人形劇フェスタ。すぎのこは「マーリヤンとまほうのふで」と「たのきゅうのうわばみたじ」の二作品を携えて参加しました。

まほうのふで」の人形たちでパレードに参加しました。普段同じ班の人以外と交流する機会はあまりないので、パレードでは他の班の人や事務所の人たちと一緒に、わいわい楽しい時間を過ごせました。

このお祭りでは、色々な劇団の作品をたくさん見ることができました。中には海外から上演しに来る劇団さんも。他劇団の作品をいくつか観劇し、たくさん刺激を受けました。自分たちにはないものトーク力だったり、照明の演出だったりに圧倒され、少し自信を無くしたり...

上演の日。最終日の早い時間にも関わらず、小さなお子様からベテランの人形劇人の方、外国の方までたくさんのお客さんが足を運んでくれました。上演後のお客さんからいただいたアンケートも、たまたか言葉がたくさん読み、改めて「自分たちは自分たちの、より良い形を追求しよう」と思いました。

そして、いいだ人形劇フェスタといえば「わいわいパレード」もお楽しみの一つ。参加劇団がそれぞれの人形を持って、飯田市街を練り歩きます。中には数人がかりで操作するような大きな人形もあって、迫力があります。すぎのこは翌日に上演する「マーリヤンと

観に来てくれたお客様、スタッフの皆さま、ボランティアの方々、そして他劇団の皆さま、また来年お会いできるのを楽しみにしております。ありがとうございました。

(石山 和佳)



制作

今年の夏は、昨年とくらべ一段と暑かった！と感じた方が、多くいらしたかと思いますが、だんだんと過ごしやすい季節になりました。

すぎのこは、今年8月1日に創立60周年を迎え、8月18日(日)に、創立60周年祝賀会を開催いたしました。何十年ぶりにお会いする先輩・同期・後輩と楽しい時間を過ごすことができました。私が入団した当時の東京都足立区西綾瀬の

稽古場事務所があった50数年前のこと。その後移転した神奈川県相模原市の稽古場時代の出来事など昔の思い出話で、盛り上がりました。

そして、60周年記念作品「マリーヤンとまほうのふで」をご観劇いただき、貴重なご意見もいただきました。

これからも、すぎのこ創立者・小澤明の「テレビでは決して味わえないナマの舞台の感動を、どんな離島山間僻地の子ども達にも届けよう」を忘れることなく、子ども達の心の栄養となる舞台制作に努力していきたいと思えます。

(下村 明)

講習会報告 演育ワークショップ

埼玉県飯能市にある、さゆり幼稚園において、7月1日・7月10日に、今年度4回目の「演育ワークショップ」を行いました。

今回は、自分を表現する手段として、大きな声ではっきり伝えるための発声練習を行いました。風車を用意して勢いよく回しおなかから声を出す練習。離れたところ

にいる人形に、自分の名前を大きな声でハッキリ伝える練習。子どもたちは、楽しみながら、頑張つて人形に向かって話しかけてくれ

ました。

10月は、5回目の演育ワークショップがあります。今度は何をするのかな、早く演育ワークショップをやりたいな、と子どもたちが楽しみに待ち焦がれてくれる、演育ワークショップにしていきたいと思えます。

(下村 明)

演育ワークショップ

利用報告

「すぎのこ演育研修センター」は今夏、群馬大学医学部ラグビー部とボーイスカウト東京連盟目黒

第6団の皆様方にご利用いただきました。またお友達連れの皆様にも多数ご利用いただきました。秋もリーダーの団体様からご予約をいただいております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

事務局 だより



当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会(現公益財団法人JKA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ演育研修センター」があります。

この施設は緑豊かな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や芸術等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません)

近くには、海拔1240m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉「湖畔の湯」やバラキ高原演育スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはバーベキューが楽しめる集会所が整備され、日本キャンプ協会の優良キャンプ場として認定されています。

E-mail/supporit@suginoko.org

または03-3984-2396 (事務局)

賛助会員を募集しています!

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。

1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
 - (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	年額	3,000円	以上
団体	年額	10,000円	以上
 - (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」

個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。



演育研修センター

活動記録(令和6年7月~8月)

- 7/1・10 演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉 飯能市)
- 8/3 いいた人形劇フェスタ参加 「たのきゅうのうわびみたい」 於・長野県竜丘公民館
- 8/4 いいた人形劇フェスタ参加 「マリーヤンとまほうのふで」 於・長野県飯田文化会館
- 8/18・22 第一期全国巡回公演終了 創立六十周年記念 祝賀会開催 於・メゾン・セルバンテス(東京都千代田区)
- 8/27 第二期全国巡回公演開始